

交付運用報告書

# SOMPO外国株式アクティブ バリューファンド（リスク抑制型）

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2018年11月6日～2019年11月5日

第3期 決算日：2019年11月5日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、主として日本を除く世界各国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第3期末 2019.11.5

基準価額 13,459円

純資産総額 186百万円

騰落率\* 7.4%

期中分配金合計 0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

### ▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sjnk-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



### 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル  
お問い合わせ先：クライアントサービス第二部

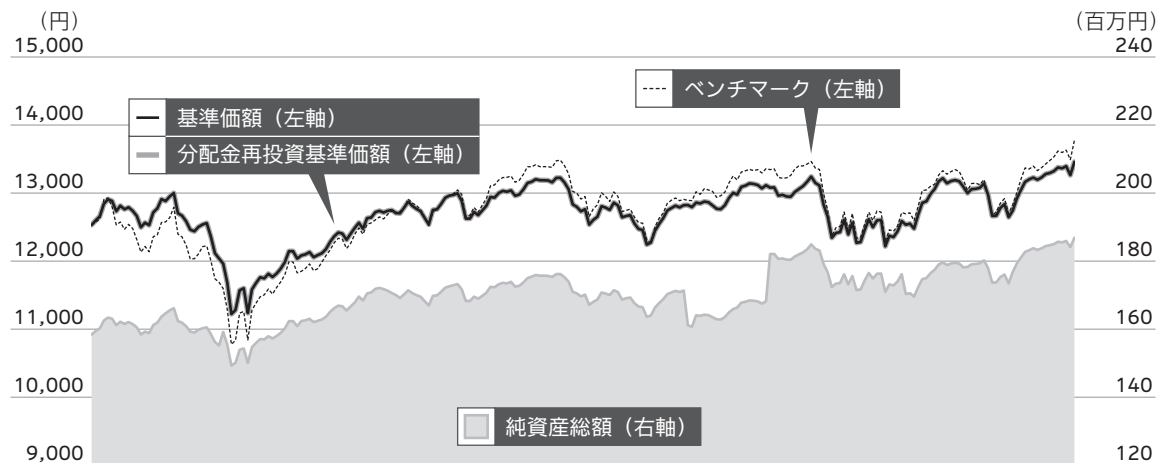
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

# 運用経過

## ● 基準価額の推移



第2期末  
2018.11.5

第3期末  
2019.11.5

第3期首

騰落率

第3期末

基準価額  
12,531円

7.4%  
( 分配金再投資 )  
( 基準価額ベース )

基準価額  
13,459円  
( 期中分配金 )  
( 合計0円 )

基準価額の推移

- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (MSCIコクサイ インデックス (配当込み)) の推移は、2018年11月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### SOMPO外国株式アクティブバリューファンド（リスク抑制型）

当期は、投資しているSOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンドが上昇したことにより、当ファンドの基準価額も上昇しました。

### SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

期中の騰落率は+8.8%となりました。保有外貨建資産の通貨が概ね対円で下落したものの、ファンドで保有する株式の価格の上昇がプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド    マザーファンド

## ● 1万口当たりの費用明細

項目	第3期 2018.11.6~2019.11.5		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	158円	1.243%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,724円です。
( 投信会社 )	( 70 )	( 0.550 )	ファンドの運用の対価
( 販売会社 )	( 84 )	( 0.660 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
( 受託会社 )	( 4 )	( 0.033 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.082	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株式 )	( 10 )	( 0.076 )	
( 投資信託証券 )	( 1 )	( 0.005 )	
(c) 有価証券取引税	3	0.027	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株式 )	( 3 )	( 0.026 )	
( 投資信託証券 )	( 0 )	( 0.001 )	
(d) その他費用	47	0.367	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
( 保管費用 )	( 46 )	( 0.359 )	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
( 監査費用 )	( 1 )	( 0.007 )	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
( その他 )	( 0 )	( 0.001 )	信託事務の処理にかかるその他の費用等
<b>合計</b>	<b>218</b>	<b>1.719</b>	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

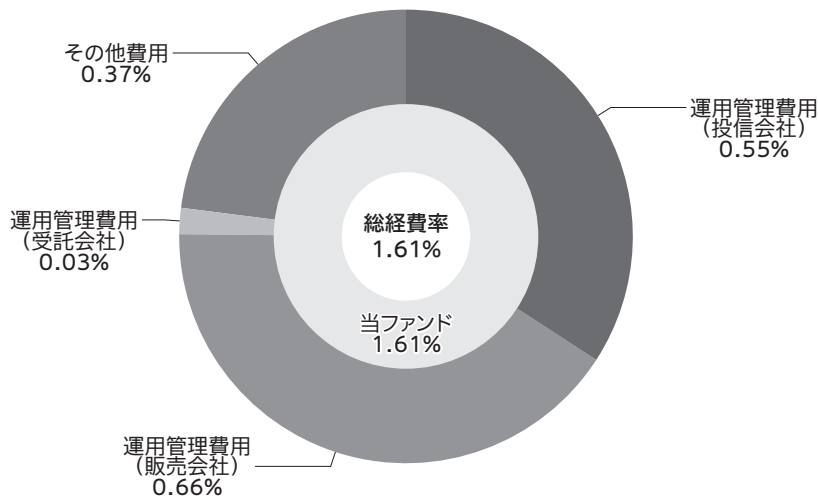
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.61%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ● 最近5年間の基準価額等の推移 2014.11.5～2019.11.5



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (MSCIコクサイ インデックス (配当込み)) の推移は、設定時の基準価額 (10,000円) をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日	2016.10.25 設定時	2017.11.6 決算日	2018.11.5 決算日	2019.11.5 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,410	12,531	13,459
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	24.1	1.0	7.4
ベンチマーク騰落率 (%)	—	34.8	1.6	9.9
純資産総額 (百万円)	100	138	158	186

- ベンチマークは、MSCIコクサイ インデックス (配当込み) です。

指数に関する詳細は17ページをご参照ください。

## ● 投資環境

### ○米国株式市場

米国株式市場は上昇しました。期初は、米中貿易戦争を背景に軟調な展開となりました。

2019年初は、FRB（米連邦準備理事会）が金融緩和を示唆したことから上昇基調となりましたが、その後は米中貿易戦争への懸念が再び高まったことや、米国経済の鈍化が警戒されたことを背景にボラティリティが高まるなど不安定な展開となりました。

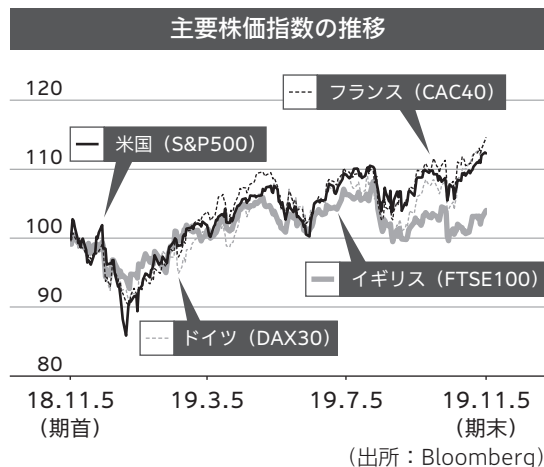
期末にかけては、米中貿易戦争の緩和や、米国経済への過度な懸念の後退を背景に上昇し、期を通じても上昇となりました。

### ○欧州株式市場

欧州株式市場は上昇しました。期初は、米中貿易戦争を背景に軟調な展開となりました。

2019年初は、米国株式市場が上昇したことから欧州株式市場も連れ高となりましたが、その後は米中貿易戦争への懸念が再び高まったことや、欧州経済の鈍化が警戒されたことを背景に不安定な展開となりました。

期末にかけては、ECB（欧州中央銀行）が量的緩和の再開を決定したことに加えて、英国の「合意なき離脱」の回避や、米中貿易戦争の緩和を背景に上昇し、期を通じても上昇となりました。



注. 期首を100として、委託会社にて指数化したものを使用しております。

## ○アジア株式市場

アジア株式市場は上昇しました。期初は、米中貿易戦争を背景に軟調な展開となりました。

2019年初は、FRBが金融緩和を示唆したことや、中国の緩和的な金融政策を背景に上昇基調となりましたが、その後は米中貿易戦争への懸念が再び高まったことや、香港における「逃亡犯条例改正案」を巡る抗議デモを背景にボラティリティが高まるなど不安定な展開となりました。

期末にかけては、米中貿易戦争の緩和や、香港の「逃亡犯条例改正案」の撤回を背景に上昇し、期を通じても上昇となりました。

## ○為替市場

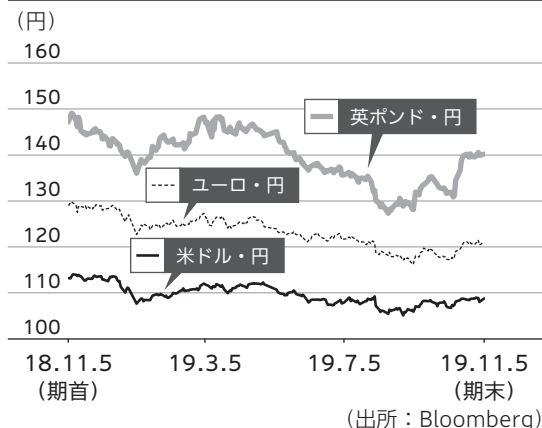
当期の米ドル円相場は、円高ドル安となりました。期初に113円近傍であったドル円相場は、FRBが利下げを実施したことや、米中貿易戦争への懸念が高まったことなどから、2019年8月には105円台まで円高が進みました。その後、米中貿易戦争の緩和などを背景に円高は一服し、期末には108円台となりました。

当期のユーロ円相場は、米中貿易戦争への警戒や、欧州景気の悪化懸念等から円高ユーロ安になりました。

### 主要株価指数の推移



### 為替レートの推移



注。為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。



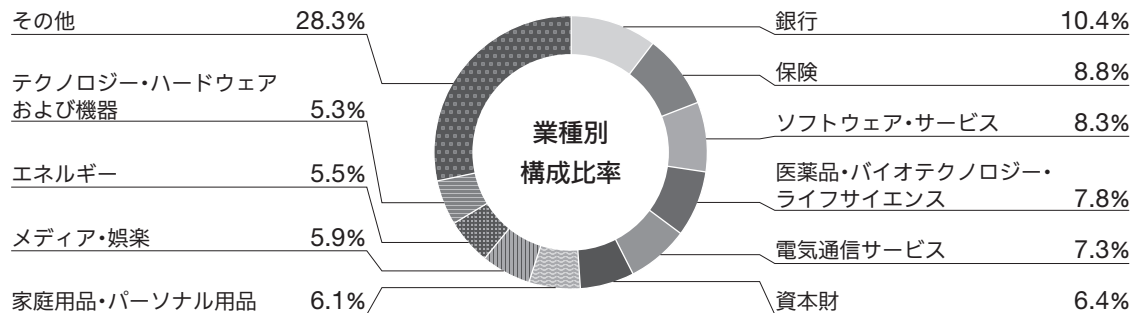
## ● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通して、SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率（対純資産総額比）は99.1%です。

### SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率（対純資産総額比）は、96.7%です。

ポートフォリオは弊社独自の投資価値分析に基づく相対的割安度の高い銘柄を中心に、ベンチマークと比較してリスク水準を抑えたポートフォリオ構築を継続しました。



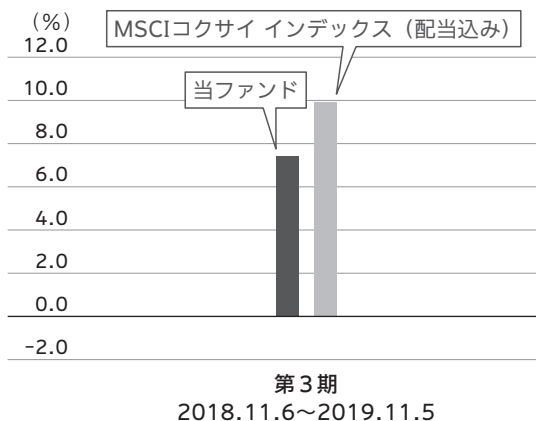
注1. 比率は、第3期末における外国株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの騰落率（分配金再投資基準価額ベース）は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（配当込み））の騰落率（+9.9%）を2.5%下回りました。当ファンドは期を通じて「SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド」を高位に組み入れていましたので、以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異の要因分析についてご説明いたします。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



### SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（配当込み））の騰落率（+9.9%）を1.2%下回りました。

個別銘柄において、AT&T（米国・コミュニケーションサービス）のオーバーウェイトや、Exxon Mobil（米国・エネルギー）のアンダーウェイトなどがプラス要因になったものの、CBS（米国・コミュニケーションサービス）およびCarnival（米国・一般消費財）のオーバーウェイトなどがマイナス要因になりました。

## ● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、当期は分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第3期 2018.11.6~2019.11.5
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,459

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

## ● 今後の運用方針

### SOMPO外国株式アクティブバリューファンド（リスク抑制型）

今後の運用においても、マザーファンド受益証券の組入水準を高位に維持することで、着実な成長と安定した収益の確保を目指します。



### SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

今後の運用においても、当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度の高い銘柄を中心に、ベンチマークと比較してリスク水準を抑えたポートフォリオ構築を継続します。

## ● お知らせ

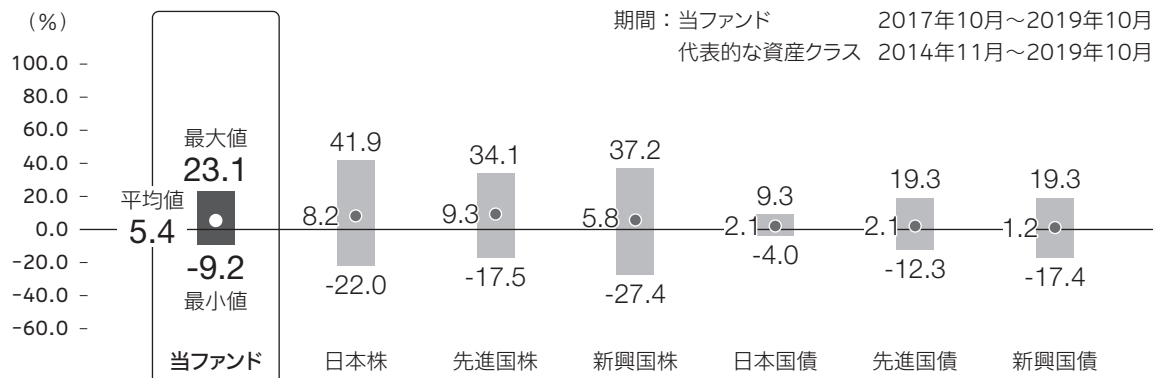
投資信託の監査にかかる費用を適切に反映させるため、2020年1月から、監査費用の徴収方法を変更することと致しました。

## ● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	 SOMPO外国株式アクティブバリューファンド（リスク抑制型） SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド受益証券  SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド 日本を除く世界各国の株式
運用方法	① SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除く世界各国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ② 銘柄選定にあたっては、当社が独自に開発した外国株式評価モデルにより算出した投資価値と市場価値とを比較した相対的割安度を測定します。 ③ 相対的割安度の高い銘柄を中心に、ベンチマークであるMSCIコクサイ インデックス（配当込み）と比較してリスク水準を抑えたポートフォリオを構築し、中長期的にベンチマークを上回る運用成果を目指します。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

## ● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

① 当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



\* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### \* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は17～18ページをご参照ください。

# 当該投資信託のデータ

## ● 当該投資信託の組入資産の内容

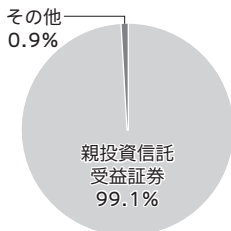
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 組入ファンド

	第3期末 2019.11.5
SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド	99.1%

注. 比率は第3期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



注. 比率は第3期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

## ● 純資産等

項目	第3期末 2019.11.5
純資産総額	186,837,777円
受益権総口数	138,819,110口
1万口当たり基準価額	13,459円

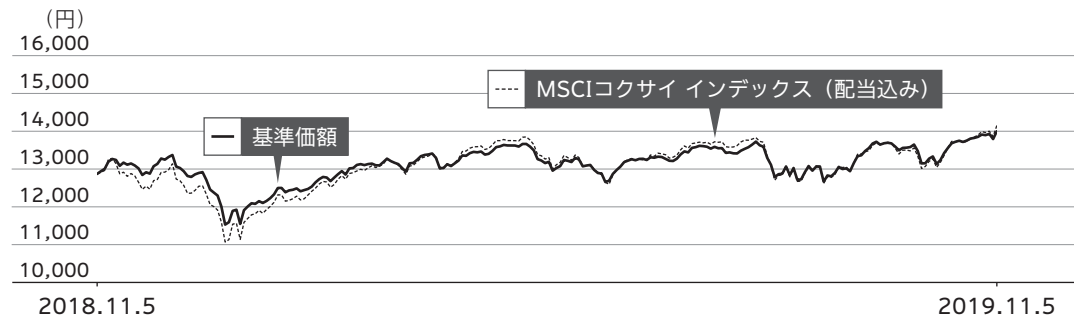
※ 当期中における追加設定元本額は27,171,912円、同解約元本額は14,763,468円です。

## ● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 🏠 SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

#### 基準価額の推移



- ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（配当込み））の推移は、2018年11月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

#### 1万口当たりの費用明細

項目	2018.11.6～2019.11.5	
	金額	比率
売買委託手数料	11円	0.081%
（株式）	(10)	(0.076)
（投資信託証券）	( 1)	(0.005)
有価証券取引税	3	0.026
（株式）	( 3)	(0.026)
（投資信託証券）	( 0)	(0.001)
その他費用	48	0.363
（保管費用）	(48)	(0.362)
（その他）	( 0)	(0.000)
<b>合計</b>	<b>62</b>	<b>0.470</b>

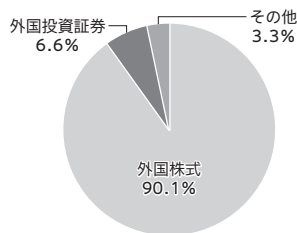
期中の平均基準価額は13,152円です。



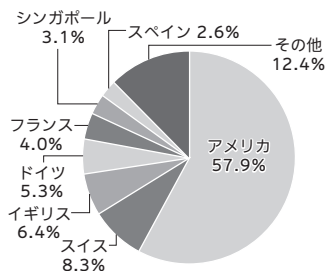
## 組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.3%	
2 VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
3 PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
4 AT&T INC	電気通信サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
5 NESTLE SA-REGISTERED-B	食品・飲料・タバコ	スイス・フラン	スイス	2.1%	
6 VERIZON COMMUNICATIONS	電気通信サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.0%	
7 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.0%	
8 ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	スイス・フラン	スイス	2.0%	
9 ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカ・ドル	アメリカ	1.9%	
10 INTL BUSINESS MACHINES CO	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.9%	
組入銘柄数		94銘柄			

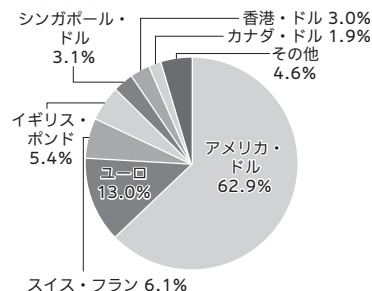
## 資産別配分



## 国別配分



## 通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2019年11月5日)現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ● 指数に関して

### 当ファンドのベンチマークである「MSCIコクサイ インデックス（配当込み）」について

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

### 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### ■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### ■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

#### ■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

### ■ NOMURA-BPI国債

野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村証券株式会社に帰属します。野村証券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

### ■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

SOMPO外国株式アクティブバリューファンド（リスク抑制型）

検索

<https://www.sjnk-am.co.jp/fund/0979/price.html>

SOMPO ホールディングス  
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

| ENGLISH | Innovation for Wellbeing  
SOMPO ホールディングス

文字サイズ 大 中 小

ホーム Home | ファンド情報 Fund Information | マーケット・ファンドレポート Market & Fund Report | 当社の資産運用 Our Business | 会社情報 About Us

HOME > ファンド情報 > SOMPO外国株式アクティブバリューファンド（リスク抑制型）

ファンド情報

- ファンド一覧
- 基準価額一覧
- ファンド検索
- 分配金・償還金一覧
- 販売会社一覧

追加型投資/海外/株式

SOMPO外国株式アクティブバリューファンド（リスク抑制型）

日本経済新聞掲載名：外株バリュー

交	交付目論見書 (2019.08.02)	運交	交付運用報告書 (2018.11.05)	休	海外休業日（申込不可日） 2019年
請	請求目論見書 (2019.08.02)	運全	運用報告書（全体版） (2018.11.05)		
		月	最新月次レポート (2019.10.31)		

ピックアップファンド

① 交付運用報告書・運用報告書（全体版）バックナンバー

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

### 交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

### 交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

### 海外休業日 （申込不可日）

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

### 請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

### 運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

月

### 最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。